
赤 潮 情 報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成 3 0 年 7 月 6 日

鹿児島湾 赤潮情報 No.7

[1] 7月5日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

有害種であるシャットネラ属が7ヶ所で最高2細胞/mL（マリーナ：1，オバータ：1）確認されました。

また、セラチウム属が全域で確認され、最高50細胞/mLでした。

珪藻類は、湾奥、湾央ともに東側で多く、西側でやや多い状況でした。

(2) 海況

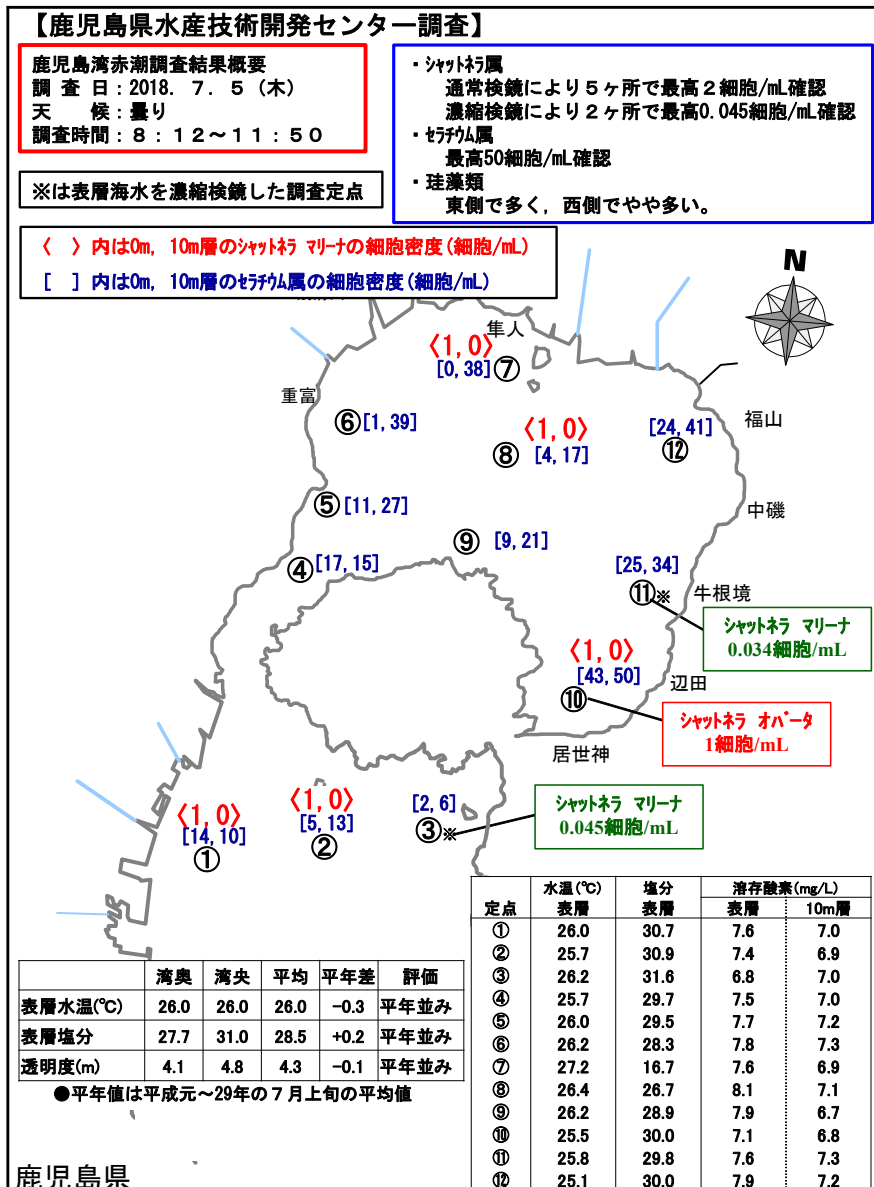
平年値と比べ、表層水温は平年並みで湾奥部で25.1~27.2℃、湾央部で25.7~26.2℃。塩分は平年並みで16.7~31.6、透明度は平年並みで2.5~6.0mとなっています。

水温：平均 26.0℃ 湾奥部 26.0℃ 湾央部 26.0℃

塩分：平均 28.5 湾奥部 27.7 湾央部 31.0

透明度：平均 4.3m 湾奥部 4.1m 湾央部 4.8m

（平年値は平成元年~29年の7月上旬の平均値）



[2] 今後の赤潮発生の予想

5日の調査では、競合種である珪藻類は比較的多いものの、水温は平均26.0℃、塩分は30以下とシャットネラ マリーナの適水温、適塩分に入り、今後の環境次第では増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、十分な注意をお願いします。

（次回調査は7月下旬を予定）

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

